

2018年春学期の全時間訓練のための
メッセージアウトライン

主題：
キリストのからだとしての召会を建造するために、
キリストの豊富を享受する

メッセージ 6

ヨハネによる福音書に啓示されたすべてを含むキリストを召会のために経験し享受する

(2)

花嫁、群れ、多くの麦粒、御父の家

聖書：ヨハネ 3:15-16, 29-30. 10:10, 16. 11:25. 12:24. 14:2-3

- I. ヨハネによる福音書は、すべてを含むキリストが来て、わたしたちにとって命となったことは、召会が存在できるようになるためであることを啓示しています——3:15-16. 10:10. 11:25。
- II. 花嫁としての召会は、キリストの増し加わりです——3:29-30：
- A. 29節と30節の極めて重要な言葉は、「花嫁」と「増し加わり」です。30節の増し加わりは29節の花嫁です。
- B. キリストの増し加わりは再生を通して生み出されます。再生がなければ、キリストは彼の増し加わりとしての花嫁を持つことはできません——3, 5-6, 15-16, 29-30節：
1. 再生は神聖な命を信者たちの中へともたらずだけでなく、彼らをキリストの増し加わりである団体の花嫁にします——3, 5-6, 15-16, 29-30節。
 2. 再生は行動する神聖な命として描写されるかもしれませんが、この行動の結果は神の子供たちであり、彼らは永遠の命を所有し、キリストの花嫁を構成します。
 3. 花嫁は団体のパースン、召会であり、キリストにあるすべての信者から成っています——II コリント 11:2. エペソ 5:25-32. 啓 19:7。
 4. キリストにあるすべての信者は召会の構成要素であり、最終的にキリストの花嫁となります——21:2, 9-10。
 5. 再生されたすべての人はキリストの増し加わりであり、この増し加わりがキリストの配偶者となる花嫁です。
- III. キリストが良い牧者であり、羊のために自分の命を捨てたのは、神聖な命において、一つの群れ、ひとりの牧者があるようになるためです——ヨハネ10:10後半, 16：
- A. 良い牧者として、主は牧場としてのご自身をもって、ご自身の中で、わたしたちを養うことによって牧養します——9節。
- B. 良い牧者として、主は神聖な命の中で、わたしたちを導き、案内し、方向づけます——14節。

C. 良い牧者としてのキリストの牧養の下で、「一つの群れ、ひとりの牧者となる」—— 16 節 :

1. 一つの群れは、一つのキリストのからだである召会を表徴しており、主の永遠の神聖な命によって生み出されました。主は彼の死を通して、この命を彼の肢体たちの中へと分け与えました—— 16-18 節. エペソ 2:14-16. 3:6。
2. 主は彼の牧養の下で、ユダヤ人信者と異邦人信者を一つの群れ、すなわちキリストのからだである一つの召会へと形成しました——ヨハネ 10:10-18. エペソ 2:14-16. 3:6。

IV. ヨハネによる福音書第12章24節で召会が暗示されています :

A. キリストは、復活という結果のために死ぬ一粒の麦です—— 24 節 :

1. 一粒の麦として、主イエスが地に落ちて死んだのは、多くの実、多くの麦粒を産出するためです。
2. 24 節の「多くの実」は、復活におけるキリストの増し加わりとなりました—— 20:17. I ペテロ 1:3。
3. 神聖な種である主イエスが多くの麦粒（彼の中へと信じ、彼を受け入れた人たち）を産出したのは、彼の有機的なからだである召会を構成する彼の多くの肢体となるためです——ローマ 12:4-5。

B. キリストの復活の中で生み出された多くの麦粒が、ひかれ、混ぜ合わされなければならないのは一つパン、すなわちキリストのからだとなるためです—— I コリント 10:17. 12:12, 27 :

1. 多くの麦粒が砕かれ、ひかれるのは、混ぜ合わされるためです。
2. わたしたちは麦粒のままであるべきではありません。わたしたちは砕かれ、ひかれて、きめの細かい小麦粉となる必要があります。それは、わたしたちが他の人たちと混ぜ合わされてパンとなるためであり、そのパンはキリストのからだを表徴し、新エルサレムにおいて究極的に完成します—— 10:17. 12:12, 27. 啓 21:2。

V. 御父の家としての召会は、手順を経て、究極的に完成された三一の神と、彼の贖われ、再生され、造り変えられた選びの民から構成された、神性と人性の合併です——ヨハネ 14:2-3, 6, 23 :

A. 主イエスは彼の復活において、神の宮をより大きな形で再建し、それを団体的なもの、キリストの奥義的なからだとしました—— 2:19-22 :

1. 十字架上で壊された宮であるイエスの体は小さくて弱かったですが、復活におけるキリストのからだは膨大で強力でした—— I コリント 3:16-17. エペソ 1:22-23。
2. 主イエスは彼が復活した日から、復活の命の中で彼のからだを拡大しています。彼は復活の過程の下で、今もなお彼のからだを建造するために働いています——ヨハネ 2:19-22。

B. 御父の家は三一の神の事柄であり、肉体と成ること、十字架、復活を通して、ご自身を信者たちの中へと造り込んで、彼らと完全にミングリングすることです。それによって神は彼らを一つの有機体として建造し、彼の住まい、表現とならせます—— 14:2-3, 23 :

1. 主が来ることは神を人の中へともたらし、主が行くことは人を神の中へともたしました。この来ることと行くことによって、彼は神を人の中へと建造し、人を神の中へと建造することによって神の家を建造します—— 1:14. 10:10 後半. 14:2-3。
2. その霊によって、彼の死と復活を通して、神の御子、主イエス・キリストは一つの有機体、すなわち召会を建造しつつあります。召会は彼のからだ、御父の家であり、三一の神と、彼の選ばれ、贖われた民とのミングリングによって生み出されます—— 7-24 節。

© 2018 *Living Stream Ministry*